

# 「女子大のとびら」

群馬県立女子大学 ☎65-8511

## 新社会人・新入生の適応をサポートするコツとは？

国際コミュニケーション学部 教授 日詰 慎一郎

まだ桜が残る4月に群馬県立女子大学は252名の新入生を迎えました。新入生が玉村町で新たな生活をスタートさせて、約1か月が過ぎたところです。新しい生活というのは、ワクワクするものです。初めての講義や1人暮らしなど未知なことが沢山あるからです。しかし同時に、初めてだからこそ戸惑うことも沢山あります。それらを1つ1つ乗り越えることが、新しい環境に適応するという事なのです。そしてこれは学生だけではなく、皆さんの職場でも、新社会人が期待と不安のなか、新たな生活をスタートさせていることでしょう。

わたしは、経営学のなかでも働く人の心理とマネジメントが専門です。この分野での研究成果をひも解くと、新社会人は（きっと学生も）、職場（学生は大学で）で3つの課題に直面します。1つ目は「文化」です。たとえば、どの職場にも暗黙のルールがあり、それを学ぶ必要があります（学生は、履修や単位等に関するルールを学ぶことでしょう）。2つ目は「技能」です。仕事に必要なスキルを身につける必要がありま

す（学生は、レポートの書き方やプレゼン等のスキルを身につけることでしょう）。3つ目は「役割」です。職場で自分の担当やポジションを見つける必要があります（学生は、友人を作り、部活やサークル活動を通じて、自分の役割や居場所を見つけることでしょう）。そして、これらの課題を上手く乗り越えようと、その後のキャリア（学生は、キャンパスライフ）も順調に進むことがわかっています。

それでは、新しい環境に適応しようとしている新社会人や学生をどのようにサポートすることができるのでしょうか。わたくしの専門分野が教えてくれるコツの1つは、「風通しの良い環境」を用意してあげることです。具体的には、わからない点をすぐに質問することができるようにしたり、うまく出来ているかどうかについてフィードバックをしてあげたりすることです。元気いっぱいの新社会人を送り出せるように、私も学生をサポートしていきたいと思っています。

# 住民自治のまちづくり

企画課

☎64-7711

## たまむら出前講座を

### ご利用ください

行政情報や暮らしのお役立ち情報などを、職員が各地区の公民館や集会所などへ出向いて講座を開催する「たまむら出前講座」を実施しています。

これまで各行政区、各学校、各種団体の皆さんにご利用いただいています。講師派遣は無料ですので、ぜひ積極的にご利用ください。

人気のテーマ（平成30年） 消費者被害の防止について

#### 【開催するには】～依頼者へお願い～

- 会場（公民館など、集まりやすい場所）の提供
- 町内に在住、在勤などしている皆さんの集まり
- 10人以上の参加者見込み
- 政治、宗教、営利、暴力的活動が目的でない
- 苦情や要望、陳情を聞く場でない

#### 【申し込み】～14日前までにFAXかメールで～

玉村町役場 企画課 まで

☎65-2592

メール kikaku@town.tamamura.lg.jp

出前講座メニューは、企画課（役場2階⑤番窓口）または町ホームページ<http://www.town.tamamura.lg.jp/>にあります。  
※メニューにないものをご相談ください。